

平成 27 年度 第 2 回十和田市総合戦略会議（議事要旨）

日 時：平成 27 年 8 月 6 日（木）10:00～11:15

場 所：十和田市役所 本館 議会会議室

出席者：佐々木委員、畑中委員、平野委員、丸井委員、田中委員、菅委員、木立委員、中澤委員、三上委員、西舘委員、関川委員、山端委員、福士委員、小田委員
（欠席：佐賀委員、沼岡委員、稲本委員、小坂委員、石倉委員、櫻田委員）

オブザーバー：青森県上北地域県民局地域支援室 畑内室長

事務局：企画財政部 苫米地部長

政策財政課 中野課長、漆館補佐、蛭名係長、鳥谷係長、三浦主査、漆館技師

【開会】

【委員長挨拶】

本日、十和田市総合戦略会議を招集いたしましたところ、委員の皆様には、大変ご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、本日は、十和田市の将来推計や総合戦略体系素案等について説明されますので、委員の皆様から忌憚のないご意見いただきながら進めて参りたいと考えております。ご協力の程よろしくお願いたします。簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

【事務局から案件（1）十和田市の将来人口の推計等（資料1）について説明】

（省略）

【質疑応答】

（委員）資料 1-2 の 7 頁、8 頁の「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の修正特価係数が、10 頁の「製造業」の修正特価係数になると低い値となるのはなぜでしょうか。

（事務局）10 頁の「製造業」は国勢調査結果を基に作成したもので、様々な分野の製造業をまとめて「製造業」としているためです。

（委員）修正特価係数を低くしている製造業はどの分野かわかりますか。

（事務局）特定の分野ではなく、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」や「食料品製造業」以外の製造業が低いため、製造業全体の特化係数が低くなっています。

【事務局から、案件（2）十和田市総合戦略体系素案及びアイデア募集等（資料2）に

ついて説明】

(省略)

【質疑応答】

(委員) 資料2の2頁に取り組みの優先順位付けとあるが、十和田市において最も優先順位の高いものは何でしょうか。

(事務局) 現在、ワーキンググループで検討してもらうための資料1のような基礎データ等を整理している段階です。人口ビジョンを達成するための具体的な取り組みが総合戦略に反映されるわけですが、まず、人口ビジョンを決定し、十和田市の地域特性をふまえ、強みや弱み、底上げが必要な部分が出てくると思います。そして、協議や検討を経て、総合戦略での取り組みを決定するので、現段階で優先順位をつけられる状況ではありません。

(委員) ヒントでもいいので何かありますか。

(事務局) 資料1-2の9頁でも示されているとおり、宿泊業が落ち込んでおります。現代美術館などの地域特性を生かし、交流を拡大していける要素があるのではないかと考えています。

(委員) つまりは観光業ですね。

(事務局) そうです。

(委員) ワーキンググループについて、市職員から多くの良いアイデアが提案されるように、アイデア募集には匿名制を設けたり、ブレインストーミング手法を活用するなどして、アイデアを出しやすい体制で取り組んでいただければと思います。

(事務局) ありがとうございます。ご意見を参考にして、職員から多くのアイデア提案があるようにオープンな体制をとりたいと思います。

(委員) 総合戦略は政策財政課が中心になっておりますが、例えば、雇用創出グループでは商工労政課、移住・定住促進グループでは都市整備建築課など、各グループに関係の深い部や課とのつながりと言いますか、考え方の整合性はどのようになるのでしょうか。

(事務局) 各部の事業には、これまでどおり実施していく事業と、総合戦略に位置付け交付金を活用した形で実施する事業が出てくるかと思えます。各部の事業について、総合戦略に必要なものを拾い上げていきたいと思えます。

(委員) 各部からの事業の吸い上げを行うということですね。

(事務局) はい。現在、各部から総合戦略に掲載する2~3の重点事業の提案を受け付けております。委員の皆様にもご紹介して、総合戦略の取り組みとして位置付けていきたいと思えます。

(委員) 金融のマーケットといった視点からですが、円の価格が2012年の震災当時

は1ドル75円、現在は1ドル125円となっており、当時と比較すると、円安・ドル高となっております。このような状況で、海外に工場を移して、物を製造し輸入していた大手企業が、国内回帰ということで、工場を国内に立地しようという動きにあります。このことをふまえ、十和田市で企業誘致を進め、さらに子育て支援を手厚くして人口を増やしていく方法もあります。

(事務局) 雇用創出は大切な要素の1つでありますので、これからも議論を重ねていきたいと思っております。ありがとうございます。

(委員) アイデア募集については、委員の個人的なアイデアを求めるといえるのでしょうか。

(事務局) 多方面からのご意見をいただく方向で進めておりますので、個人的なアイデアや、委員の皆様が所属する団体の方々にも可能な範囲で聞き取りなどしていただいて、アイデア提案にご協力いただければと思います。

(地域支援室) 上北地域県民局管内の各市町村が地域特性を活かした総合戦略の策定に取り組んでおります。十和田市と三沢市においては、上十三地域の中心市として、地域全体をにらんだ戦略も盛り込まれるかと思っております。予算のお話になりますが、来年度から国がまち・ひと・しごとに関連する新型交付金の事業となると、官民共同、地域間連携といった視点での新たな取り組みを歓迎するという話を聞いておりますので、そのような視点も総合戦略に取り入れていただければと思います。上北県民局としてもサポートしていきたいと思っております。

(委員) 2点お伺いします。1点目は、市が北里大学や企業と連携し新たな産業づくりなどを行っているのでしょうか、2点目は資料3の滞在人口データを十和田市だけでなく、他の観光都市のデータも見たいです。

(事務局) 北里大学との連携については、産官学の連携として継続して行っております。大学の特徴を活かしたまちづくりに向けて、学生の意見なども聞きながら、戦略会議で協議・検討していきたいと思っております。他の観光都市との比較については次回、お示しできるよう資料を用意したいと思います。

(委員長) 補足させていただきますが、事務局から説明ありましたように、いくつかの課題について十和田市と連携して取り組んでおります。ただし、企業化などは現状でなかなか難しいといったところです。大学にもそのようなノウハウがないといえますか、実際にはいいものを持っていて、十和田市を飛び越えて乳用食品会社と連携するなど、食品メーカーとのつながりが強いです。そうは言いますが、大学がこの地域にありますので、継続して連携していきたいという方向です。

(委員) 戦略体系の素案には、北里大学だけでなく、県立高校との連携といった視点も入れてほしいと思っております。

(事務局) わかりました。

- (委員) 確かに、連携は常にキーワードだと思いますが、幅広く意見を取り入れて失敗する場合があります。何をやりたいのか、必要なところに特化して、成功事例に学び、具体的に進めていくことが成功するためには必要だと思います。
- (委員長) 広く意見を求めることは前提で全体の底上げにもつながりますが、最後には選択と集中が必要だという意見でした。もちろん、市もお考えになっていると思いますがいかがでしょうか。
- (事務局) 様々な意見を拾い上げ、しっかりとデータ分析をして、総合戦略にまとめていきたいと思います。
- (委員長) 総合戦略会議の位置付けは、総合開発審議会と市がつくったものについて、市民の意見を取り入れるものという考え方でいいのですよね。
- (事務局) はい。
- (委員長) 今回の会議では、事務局から資料1のような様々な分析をしたものを提供していただきましたが、次回の会議では、分析の結果から見えてくるものをさらに盛り込んでいただいた方が、委員の皆様も意見がいいやすいと思います。
- (事務局) わかりました。
- (委員) 2点お伺いします。幅広く提案された意見については、市でフィルタリングしてから委員に公開されるのか、それとも、そのまま公開されるのでしょうか。次に、資料1-1の6頁において、自然増減の影響度ランク2に位置している市町村はどうして出生数が良いのか分析はしていますか。
- (事務局) 2点目の質問からですが、三沢市については、自衛隊などの立地により若い世代が多いことが影響しているのではないかと分析しています。六ヶ所村についても原燃などの立地による影響だと思われます。大間町などについては、人口が少ない中であって、人口構成の結果として表れているのではないかと分析しています。
- (委員) 出生率が必ずしも良いというわけではないのですね。
- (事務局) そう考えています。
- (委員) 消滅可能性都市について、全国を調べましたが、米軍基地がある自治体はどこも消滅可能性都市ではありませんでした。
- (事務局) 1点目の質問ですが、すべての意見を皆様に提示すると、事務が煩雑になると思いますので、類似したアイデア等は整理して提示させていただければと思います。
- (委員) 件名だけでもいいので、このような意見があったというのはすべて出していただけだと思います。
- (事務局) わかりました。

【事務局から今後のスケジュール等について説明】

(省略)

【質疑応答】

なし

【閉会】